

マイバッグは地球を救えるか…?

レジ袋、お店でもらうか断るか? その1枚が地球環境を左右する…と聞いたらあなたはさて…どうしますか? ごみ問題が叫ばれている今、「マイバッグ」が地球の救世主になるかもしれないのです。

普段、気にせずもらうレジ袋は、地球の大切な資源を使っています。ちょっとした心がけが大きな資源の節約になり、大切な地球環境を守ります。



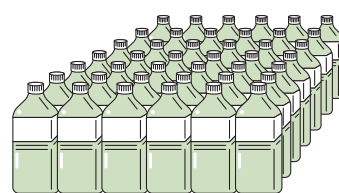
マイバッグを持参した場合の効果は?

ごみの減量につながります

1年間に全国で消費しているレジ袋は、約300億枚で、国民1人あたり年間約250枚を使っている計算になります。いなべ市の人口が約4万6千人ですから、単純に計算すると、250枚×4万6千人で、年間1,150万枚のレジ袋が市内で使用されていることになります。

ちょっと豆知識

レジ袋1枚を作るためには、石油約20mlが必要です。つまり、いなべ市の1年間の消費量で計算すると、1,150万枚×20mlですから、約230klの石油(2ℓのペットボトル約10万本分)を使っていることになります。レジ袋を使わなければ、それだけの石油が資源として残せるという考え方もできます。



大切な地球の生き物を守ることに繋がります

レジ袋がポイ捨てされているのをよく見かけます。捨てられたレジ袋は、土の中でも河川でも、そのままでは分解されません。人間が捨てた食べ物の匂いのついてあるレジ袋を、シカなどの動物がエサと間違えて食べてしまい死んでしまうこともあるのです。



ふだんの買い物がちょっと楽しいマイバッグ



マイバッグもおしゃれの1つです。お気に入りのバッグで買い物もグリーンと楽しくなるはず。ぜひ、活用してみてください!

スーパーなどの中には「桑員マイバッグ運動」に加盟しているお店もあります。「キント」を貯めて「貯キントカード」に貼り、景品(トイレトペーパー)との交換や抽選会に応募することができます。桑員マイバッグ運動について詳しくは、Link平成20年2月号または市ホームページをご覧ください。

マイバッグから始まるエコ活動…エコは、ごみに始まりごみに終わる

このように、レジ袋を節約すれば、たかが1枚でもごみのダイエットになります。ちょっとしたあなたの行動で、地球を救うことができるのです。今日から始めてみませんか?

わたしのエコスタイル!

修理して使う・譲る・売る!

「壊れた」「使い終わった」「もういらない」ポイッと捨てる前にちょっと考えましょう。

MY〇〇

「マイバッグ」「MYふるしき」「MYカップ」「MYはし」など外出時に自分用の「MY〇〇」を持ち歩く方が増えてきています。